

「政策提言型」特別委員会の検証の進め方（案）について

1 令和2年3月議会運営委員会答申「議会力を高める府議会・委員会のあり方に関する検討結果（一次答申）」での提言

- 「政策提言型特別委員会」については、まずは、令和元年度に試行した特別委員会の委員長（2名）から、実施状況等及び課題等を聴取し、その検証を行うところから、あり方の検討を開始してはどうか。

（同答申「3の(1)の③特別委員会のあり方」（3ページ）

2 前年度委員長（R1：子育て／担い手）ヒアリングによる検証の進め方（案）

- 答申による提言を踏まえ、前年度委員長ヒアリングを6月定例会中の小委員会（候補：閉会日前日の議会運営委員会後）で実施してはどうか。

→ 四方議員（R1「子育て」委員長）及び池田議員（同「担い手」委員長）を当小委員会に招致（各5分。計10分程度）

- 検証実施には、委員長の意見だけでなく、各参画議員における試行結果の「受止め」の把握が必要と考えられるため、ヒアリング実施に先立ち、R1「子育て」「担い手」の正副委員長を含む委員全員にアンケート（記名式）を実施し、ヒアリング及び小委員会における課題抽出のための参考資料として用いてはどうか。（ヒアリング実施に当たり、前年度委員長とも共有）

<アンケート項目案>

- 1 R1「政策提言型」の試行の受止め（「よかったどうか」等）（選択式）
- 2 取組の方向性（「今後も必要と考えるかどうか」等）（選択式）
- 3 課題認識や改善点等（任意記入）